Kodak
EasyShare　M532

コダック
イージーシェア M532 デジタルカメラ
日本語版 ユーザーガイド

Kodak EasySharE M532 デジタルカメラ 取扱いのご注意

本製品は、電子機器です。
ご使用環境や使用状況・保管時の環境によっては、正しく動作しなくなるだけでなく故障を引き起こします。次のような環境での使用・保管も避けてください。

- 湿気などの強いところ
- 自動車内など密閉されて直射日光が当たり、極度の高温･低温になるところ
- カメラが濡れる可能性のある場所や湿気などの多いところ
- 海岸の砂浜や乾燥地など、塩分や砂塵の影響が懸念されるところ
- 作業現場などホコリや飛散物の多いところ
- 振動等が激しいところ
- 油煙や湯気などのあるところ
- 強い磁場の発生するところ
- 防腐剤、防虫剤などの薬品や各種化合物に長時間接触するところ

強い振動・ショック・圧迫を与えないで下さい。変形・破損し故障する可能性があります。
液晶画面部分は特にご注意下さい。
落下・衝撃・圧迫・水濡れなどのお客様のお取扱いに関連して故障した場合は、製品保証期間内でも保証対象外になります。

デジタルカメラで撮影した画像・動画データは、必ずバックアップを行ってください。
万一、不測の事故により、データの破損・消失が発生してもその責は負いかねます。
本製品のお取扱いには十分ご注意ください。

M532 デジタルカメラ　ユーザーガイド　もくじ

ご使用の前に

付属品の確認

EasyShare M532 デジタルカメラをお求めいただき、誠にありがとうございます。

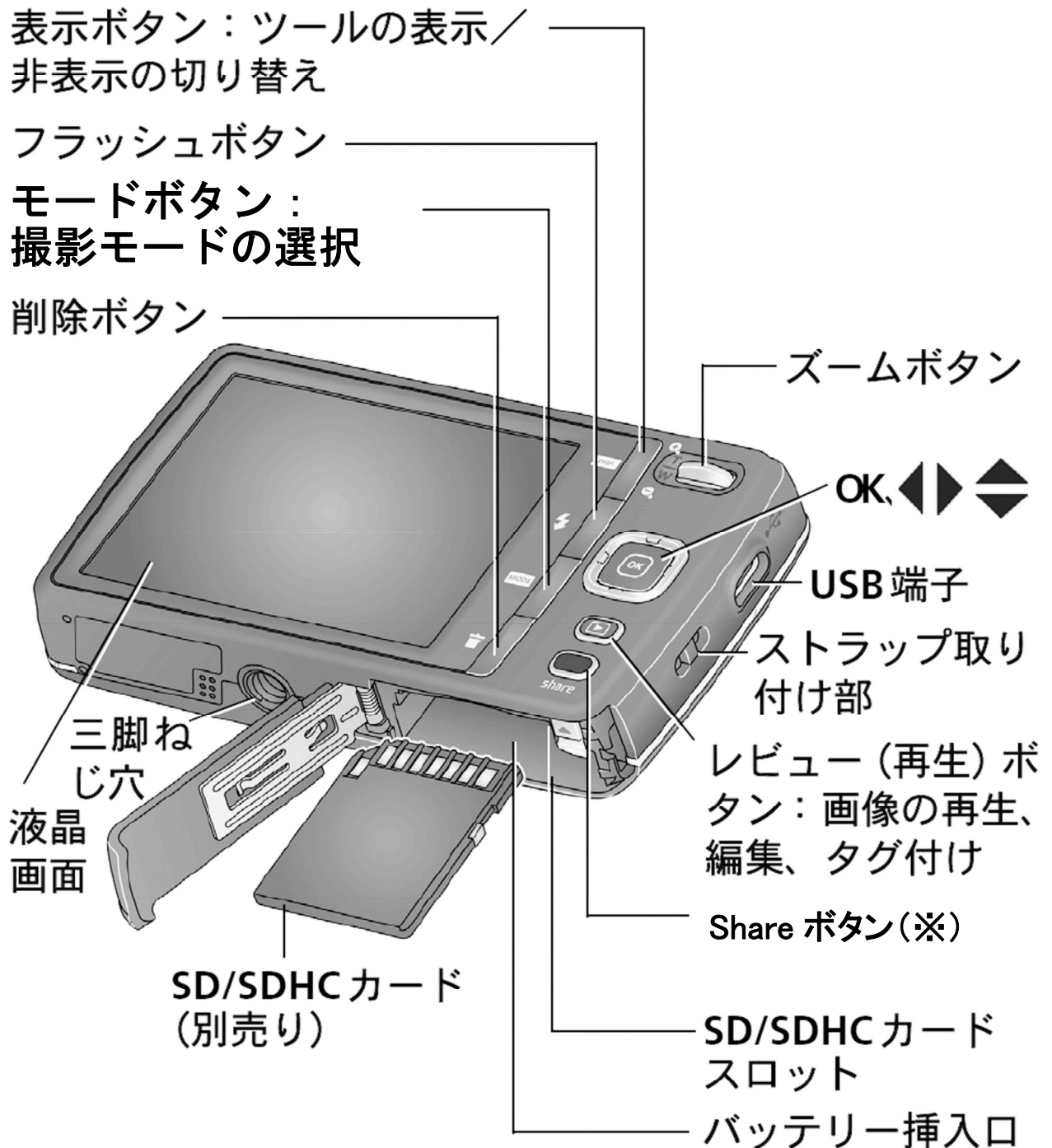
開封後、すぐに以下のパッケージ内容を確認してください。

- EasyShare M532 カメラ本体
- 充電式リチウムイオンバッテリー（KLIC-7006）
- ユーザーガイド（この冊子）
- ACアダプター（日本国内用）

  他に、海外用の変換プラグが同梱されていることが
  ありますが、日本国内では使用しません。
- USBケーブル（充電兼用）
- リストストラップ
- 製品保証書

各部の名称 （カメラ前面）

録画ボタン（動画）
シャッターボタン（静止画）
電源／充電ランプ
電源ボタン
セルフタイマー／動画
ライト／AF補助ライト
レンズ
Kodak
フラッシュ
マイク

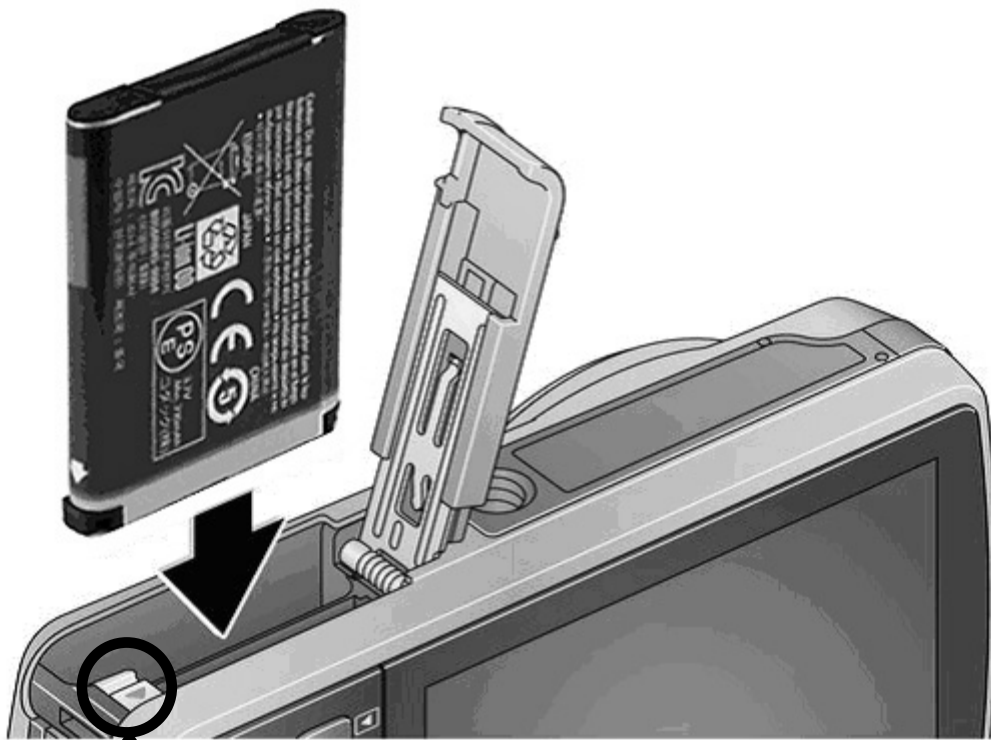
各部の名称（カメラ背面）

※Shareボタンについて
本体背面にある「Shareボタン」は日本国内では使用いたしません。
これは、Shareボタンに対応する「Kodak Gallery」というサービスが日本国内では
実施されていない事によります。

1　バッテリーの充電

専用バッテリーの装着

充電の前に、付属のバッテリーをカメラに正しく装着します。

バッテリーの向きに注意してください。
※Kodakのロゴマークが前面（レンズ側）を向きます。

【使用バッテリー】
KODAK　デジタルカメラ用　リチウムイオン充電式バッテリー（KLIC-7006）

■バッテリーツメ（オレンジ色）でバッテリーがロックされるまで、
　バッテリーを押し込みます。

■バッテリーを取り外すときは、バッテリーツメをスライドします。

カメラ本体での充電

本製品は、カメラ本体でバッテリーを充電します。

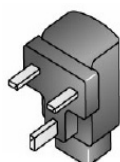
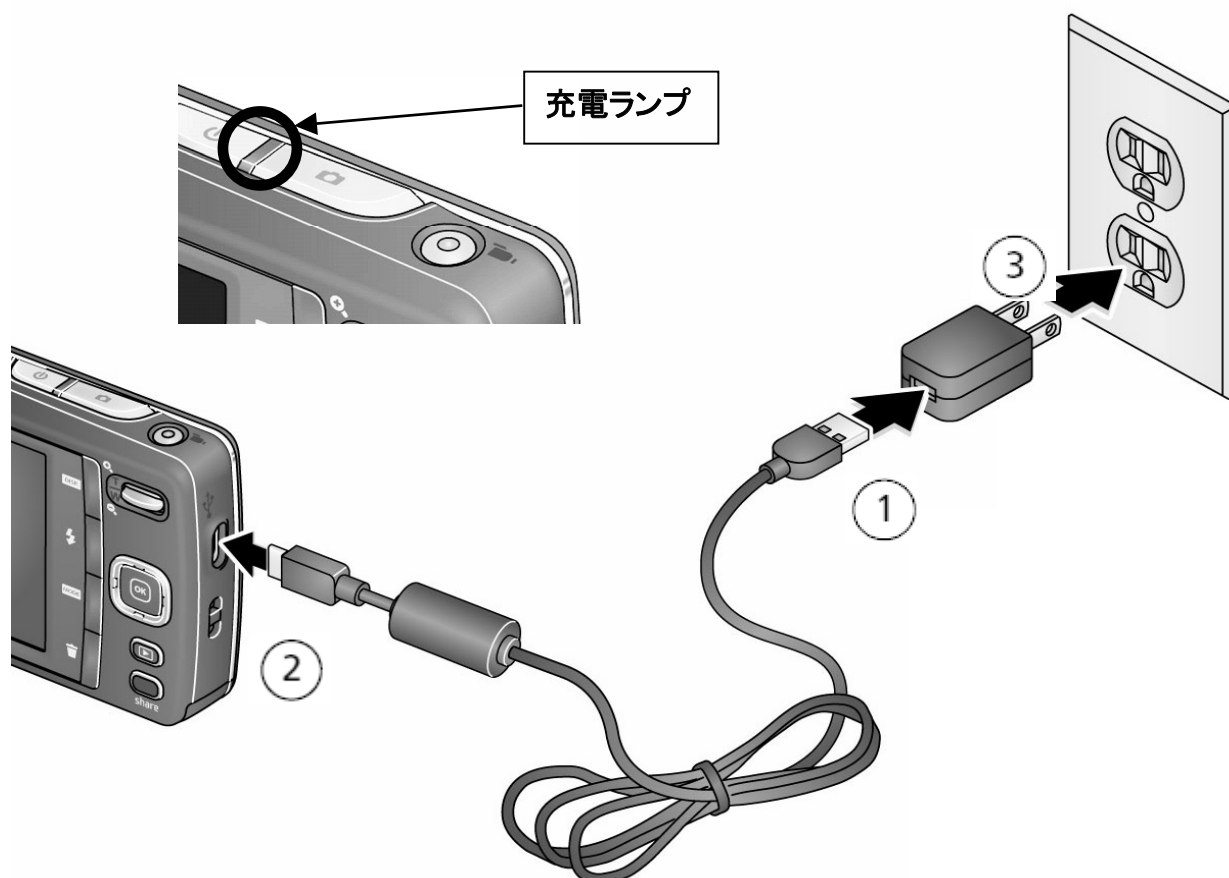
1．　付属の AC アダプターに USB ケーブルを接続します。

2．　USB ケーブルのもう一方を、カメラの USB 端子に接続します。

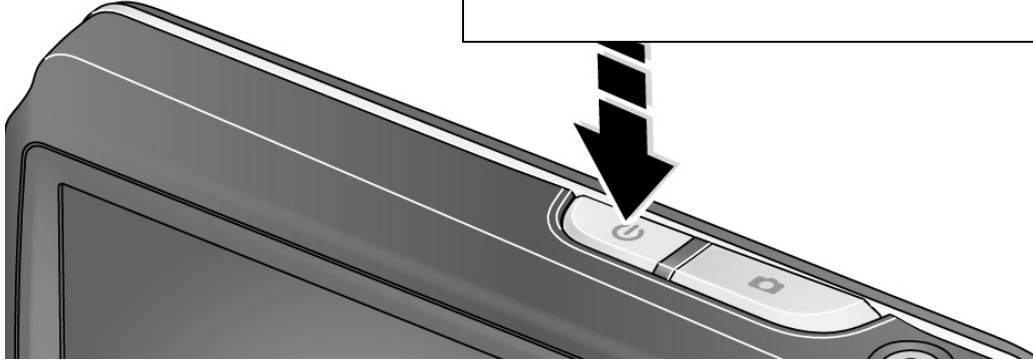
（※カメラの電源は必ずオフにしてください）

3．　AC アダプターをコンセントに差し込みます。

・充電中は、カメラ上面の充電ランプが　点滅します。

・充電ランプが　点灯に変わったら、充電完了です。

【ご注意】
別に海外用の変換プラグが同梱されている場合がありますが、日本国内では使用しません。

電源のオン/オフ

- 電源ボタンを約1秒間、長押しします。
- もう一度長押しすると、電源がオフになります。

言語選択／日付と時刻の設定

【重要:必ずお読みください！】
最初に電源を入れた時は、英語(English)の言語選択画面が表示されています。
この状態から、以下の手順で日本語表示に変更してください。

■最初に起動した時の言語設定 → 日付／時刻の設定

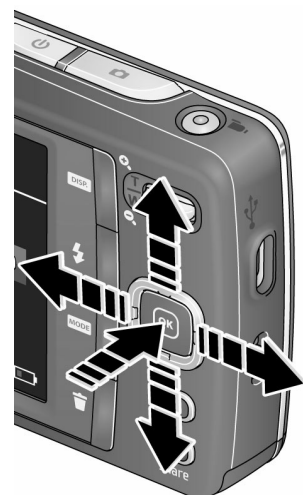
初めての設定では
下に 9 回押して「日本語」を選びます

① 言語選択の画面で英語(ENGLISH)が表示されています。
② 十字ボタンの **下** を何回か押して **『日本語』** を選択し、
OK ボタンを押すと、日本語表示に変更されます。

（※ここで、すでに「**日本語**」が選択されている場合は、
そのまま OK ボタンを押すと日本語表示になります）

③ この後、以下 **「日付/時刻の設定」** を選択し、OK を押します。
さらに、手順④～⑥を続けて行います。

（日付/時刻の設定）

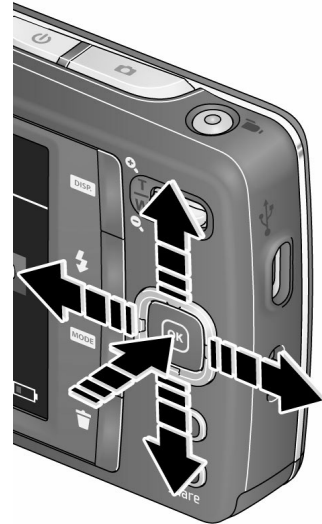
④ 各項目を 十字ボタンの 左･右 で設定します。
[年月日の表示順 ・ 年 ・ 月 ・ 日 / 時 ・ 分]
⑤ 十字ボタンの 下 で、次の項目に移動します。
⑥ すべての項目を正しく入力したら、OKボタンを押します。
（※最後にOKボタンを押さないと、設定が有効になりません）

■日付／時刻の設定をやりなおす　（日付がリセットされた時）

一度、日付／時刻の設定を行っても、バッテリーが消耗してから長期間経過したり、
バッテリーを抜いた状態で放置した場合、日付／時刻がリセットされてしまう場合があります。

この場合、以下の手順で日付／時刻を設定しなおします。

① カメラの電源を入れ、数秒で画面左上に
　設定アイコン　🔧　が表示されます。

② 十字ボタンを　上→右　の順に押していき、設定アイコンを
　選択し、OK ボタンを押します。
③ 十字ボタンの　下　を押して画面をスクロールし、
　［　**日付/時刻**　］ を選択し、OK ボタンを押します。

④ 各項目を　十字ボタンの　左・右　で設定します。

- **形式の設定**　（年・月・日の表示順）
- **（年の設定）**
- **（月の設定）**
- **（日の設定）**
- **（時の設定）**
- **（分の設定）**

⑤ 十字ボタンの　下　で、次の項目に移動します。
⑥ ④～⑤を繰り返し、すべての項目を正しく入力したら、OKボタンを押します。
（※最後にOKボタンを押さないと、設定が有効になりません）

【ご注意】
日付・時刻が誤って設定されていると、撮影時にその日時が記録されてしまいます。
撮影前に日付・時刻の設定に誤りがないかご確認ください

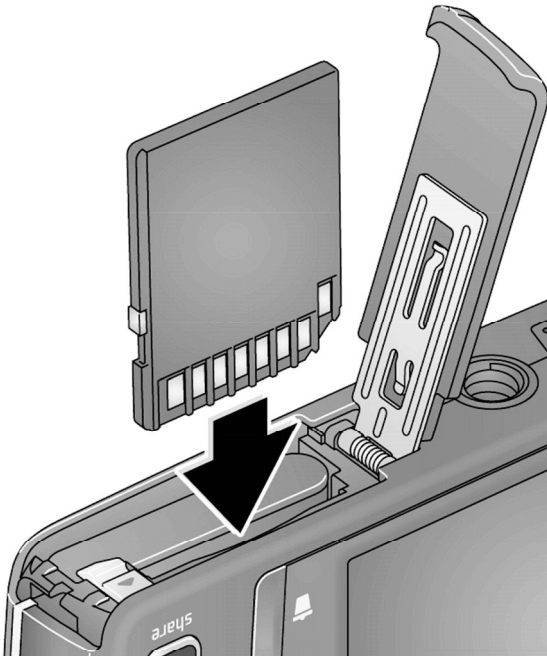
■本機の日付写し込みについて

本機は、自動的に日付を入れて撮影することはできません。
撮影日付は、画像の再生時に後から付け加えることができます。

（日付写し込みの機能については、
→　28ページ　「日付写し込みの追加」　をご覧ください）

2　SD／SDHC カードを使用する

カメラには内蔵メモリーが搭載されていますが、多くの画像を撮影するには一般的な
SDカード、またはSDHCカード（別売・市販品）をお使いください。
SDカード、SDHCカードは一般のカメラ店、パソコン販売店　などで購入できます。
（※最大32 GBまでのSD／SDHCカードで動作確認済み）

【注意】
SDカードは正しい向きで挿入してください。無理に挿入すると破損する場合があります。
カメラの電源が入っているときにカードの挿入や取り外しを行うと、 カメラの故障や
カードの破損の原因となることがあります。

1. カメラの電源をオフにし、バッテリーカバーを外側にスライドして開きます。
2. カードの向きに注意して、カメラに挿入します。
（奥に止まるまで押し込みます）
3. バッテリーカバーを閉じます。

■SDカードの取り外し
カードの端の部分を指先で少し押し込んでから離すと、カードが出てきます。

【画像の保存先について】

SDカードを挿入している時、撮影した画像はSDカードに保存されます。
SDカードを挿入していない時は、撮影した画像はカメラの内蔵メモリーに保存されます。

画像が内蔵メモリーに保存されている状態から、新たにSDカードが挿入された場合、
「内蔵メモリーに画像があります。メモリーカードに移動しますか？」 と表示されます。

ここで **「移動」** を選択すると、内蔵メモリーの画像はSDカードにコピーされますが、
同時に内蔵メモリーからは削除されますのでご注意ください。
「キャンセル」 を選択すると、コピーせずに撮影画面に移行します。

■静止画撮影枚数の目安　（撮影枚数は撮影状況により異なります）

		14MP （4：3）	12MP （3:2）	10MP （16:9）	6MP （4:3）	3MP （4:3）
内蔵メモリー	32MB （※1）	5	5	6	9	16
SD／ SDHC カード	1GB	209	232	268	405	662
	2GB	429	479	552	829	1363
	4GB	839	937	1081	1622	2667
	8GB	1711	1911	2204	3306	5437

■動画撮影時間の目安　（撮影時間は撮影状況により異なります）

		VGA（640 x 480）	HD 720p (1280 x 720)
内蔵メモリー （※1）	32MB	55 秒	撮影できません
SD／ SDHC カード	1GB	38 分 11 秒	14 分 35 秒
	2GB	1 時間 18 分	29 分 （※3）
	4GB	2 時間 33 分 （※2）	29 分 （※3）
	8GB	2 時間 33 分 （※2）	29 分 （※3）

（※1） 内蔵メモリーは、画像記録用として約 18MB が使用可能です。
（※2） VGA(640 x 480)では、1ファイルあたり 4GB を超える動画は撮影できません。
→自動的に停止します。
（※3） HD 720p (1280 x 720)では、1 ファイルあたり約 29 分を超える動画は撮影できません。
→自動的に停止します。

注意： ファイルサイズは一定ではありません。
画像撮影枚数、動画記録時間は撮影状況により異なります。

3　撮影する

静止画の撮影

1. 電源をオンにすると、カメラがスマートキャプチャー（全自動）モード で起動します。
2. 液晶画面で構図を決めます。
3. シャッターボタンを軽く半押しすると、カメラが自動的にピント合わせを行います。

   （もし希望の場所にピントが合わない時は、一度シャッターボタンを離し、構図を少し変えてみます）
4. 緑色のフレーミングマークがピントの合った場所を示します。目的の場所にピントが合ったことを確認して、シャッターボタンを完全に押し込みます。

■画面のフレーミングマークについて

フレーミングマークは、カメラのピントが合っている場所を示します
※動画または一部のシーンモード（遠景・夜景・花火など）では、フレーミングマークが表示されません。

■スマートキャプチャーモードの 『コンティニュアス AF』 について

スマートキャプチャーモードでは、カメラが常時ピントを合わせ続けるため（コンティニュアス AF）、何も操作していない状態でも「カチャカチャ」というレンズの駆動音が聞こえることがありますが、これは異常ではありません。

撮影した画像のクイックビュー

画像を撮影した直後、液晶画面にクイックビューが約5秒間表示されます。
画像の表示中にシャッターボタンを軽く半押しすると表示が消え、次の撮影準備画面になります。
撮影された画像は、削除ボタンを押さない限り保存されます。

動画の撮影

● 動画撮影ボタン

1. 動画撮影ボタン を押します。
   撮影中は赤いRECマーク(●)が点滅し、
   撮影時間が表示されます。

2. もう一度ボタンを押すと、撮影が停止します。

※1ファイルあたり 4GBを超える動画は撮影できません。
※動画撮影中のズームは、デジタルズームで動作します。

※設定メニューの ［動画サイズ］ で、お好みのサイズを選択します。
（設定メニューについては、31～32ページを参照）

■1280 x 720 (HD720p)　画面比率 16:9
ハイビジョンTVへの出力等に適します(カメラの液晶画面では上下にフチが出ます)。
データ容量が大きくなります。
■640 x 480 (VGA)　画面比率 4:3
一般的なサイズです。コンピュータでの再生に適します。

動画ファイルについて

■ 本機で撮影した動画は、他のデジタルカメラ・ピクチャーフレーム等で再生できません。
■ 動画のファイルフォーマットは　MP4(コーデック: H.264)　です。

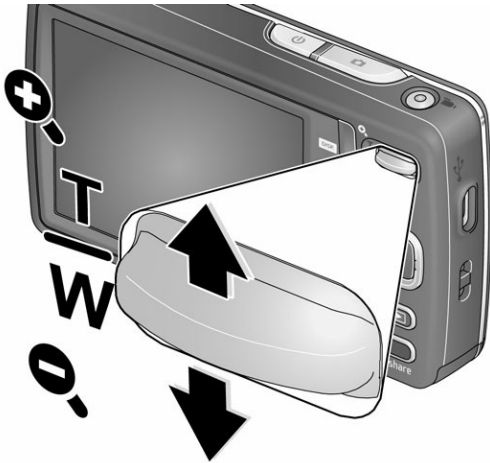
■ コンピュータでハイビジョン動画をスムーズに再生するには、少なくともデュアルコア以上のプロセッサ、2GB以上のメモリが必要です。

■ Windowsのコンピュータでは、別途 Quicktime Player のインストールが必要になることがあります。
Quicktime Player は、Apple社のホームページ
http://www.apple.com/jp/quicktime/ から無償でダウンロードできます。

■ 動画の撮影途中でバッテリーがなくなると、動画ファイルが正常に保存されずに終了してしまうことがあります。 長時間撮影の際は、バッテリー残量にご注意ください。

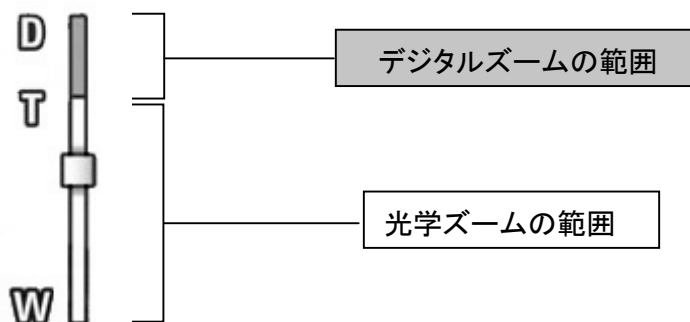
ズームを使用する

■光学ズーム

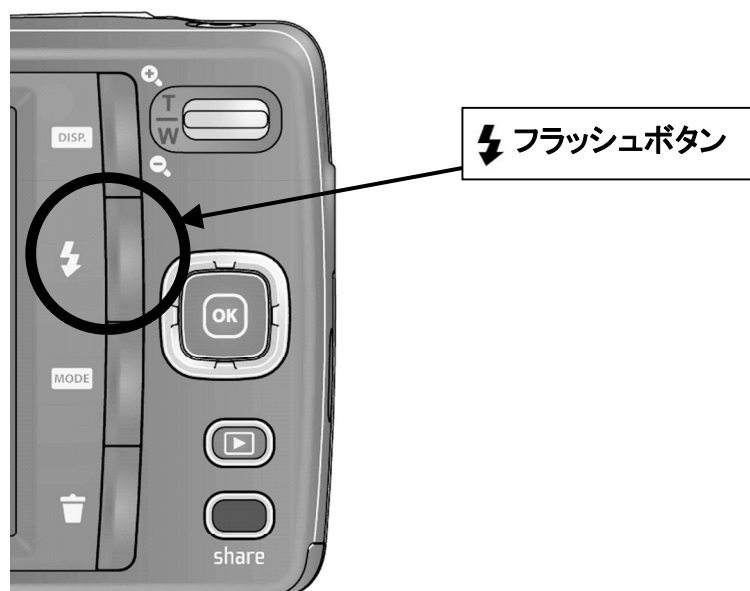
3倍までの光学ズームを使用できます。
※動画撮影中、光学ズームは無効になり、デジタルズームで動作します。

1. 液晶画面で構図を決めます。
2. ズームするには、**Tボタン**（望遠）を上に倒します。広角側に移動するには、**Wボタン**（広角）側に倒します。
3. シャッターボタンを押して撮影します。

■デジタルズーム

デジタルズームを使用すると、光学ズームよりさらに 5 倍まで被写体を大きく撮影できます。

望遠（T）を押し続けると、光学ズーム範囲の上限でいったん停止します。
デジタルズームを使うときは、望遠（T）ボタンを離してから、もう一度押します。
※スマートキャプチャーモードではデジタルズームを使用できません。

※デジタルズームは、光学ズームより画質が低下します。

フラッシュを使用する

フラッシュボタンを押すごとに、フラッシュの発光モードが切り替わります。
現在のフラッシュモードは、液晶画面の左下部に表示されます。
（※各フラッシュモードについては、下の表をごらんください。）

フラッシュモード		発光
オート発光	⚡A	フラッシュが必要な明るさで自動的に発光します。
フラッシュオフ （発光禁止）		フラッシュは発光しません。
赤目軽減プレ発光		目がフラッシュに慣れるように一度発光し、 撮影する時にもう一度発光します。
フラッシュオン （強制発光）		明るさに関係なく、撮影するたびに必ず発光します。 被写体が暗い場合や「逆光」の場合に使用します。

※撮影モードによっては、フラッシュモードが制限されることがあります。

セルフタイマー／連写の使用

自分も一緒に写りたい時や、シャッター操作による手ぶれを軽減したいときは、セルフタイマーを使用します。平らな場所や三脚などにカメラを固定してください。
連写モードでは、最高3枚までの連続撮影ができます。

1. 表示ボタン DISP. を押して、液晶画面上部のツール（アイコン）を表示させます。
（すでにツールが表示されている場合は、次の手順に進みます）
2. 十字ボタンの上（▲）を1回押し、［**セルフタイマー／連写**］ のアイコンを選択し、**OKボタン**を押します。

3. 十字ボタンの左右（ ◀▶ ）で、セルフタイマー／連写の設定を以下から選択し、**OKボタン**を押します。

オフ	セルフタイマーは動作しません。
10 秒タイマー	シャッターを押してから 10 秒後にシャッターが切れます。
2 秒タイマー	シャッターを押してから 2 秒後にシャッターが切れます。
2 連写タイマー	10 秒後に 1 回目、さらに 8 秒後に 2 回目のシャッターが切れます。
連写オン	最高 3 枚までの連続撮影ができます （※セルフタイマーではありません）。

4. 構図を決め、シャッターボタンを押して撮影します。
（連写中はシャッターボタンを押したままにします。）

※一部のシーンモード（パノラマなど）では、「2ショット」「連写」が選択できません。

撮影モードの切換

ほとんどの場合、スマートキャプチャーモード　で撮影できます。
撮影状況をカメラが自動的に判断し、最適な設定を行います。
その他に、モードボタンで撮影モードを切り替えることもできます。

撮影モード	説明
スマートキャプチャー	通常撮影全般におすすめのモードです。 簡単な操作で優れた画質を実現できます。
フィルム効果	画像に、フィルムで撮影したような色調効果をつけます。
シーンモード	特定の状況（シーン）に応じた最適な設定で 撮影することができます。（→16 ページを参照）
Photo Booth （写真館）	セルフタイマーで自動的に4枚撮影した後、それらを １枚の画像上に構成します。

シーンモードを使用する

シーンモードでは、特定の状況（シーン）に応じた最適な設定で撮影することができます。

1. モードボタン MODE を押します。
2. 十字ボタンの 左・右 で ［**シーンモード**］ を選択し、OKを押します。
3. 十字ボタンで任意のシーンモードを選び（各シーンの説明が表示されます）、OKを押します。

シーンモード	説明
プログラム	すべての撮影設定を使用して撮影できます。 上級者の方にお勧めします。（→17 ページを参照）
ポートレート	人物の撮影に適しています。
スポーツ	動きのある被写体の撮影に適しています。
パノラマ （左→右、右→左）	連続して撮影された 2 枚または 3 枚の画像をつなぎあわせて、 パノラマ画像を完成させます。（→18 ページを参照）
長時間露出	長時間のシャッタースピード（0.5 秒～8 秒）が必要な場合に使用します。※かならず三脚を使用してください。
遠景	遠距離の風景に適しています。
高 ISO 感度	室内や光の弱い場所での撮影に適しています。
マクロ	70cm 未満の接写に適しています。 フラッシュはできるだけ使わずに自然光を利用してください。
サンセット	夕暮れ時の撮影に適しています。
逆光	逆光での撮影に適しています。
キャンドルライト	キャンドルのような弱い光源下での撮影に適しています。
チャイルド	動きのある子供たちの撮影に適しています。
高輝度	晴天の屋外など、じゅうぶんな明るさがある時に使用します。
花火	花火の撮影に適しています。
セルフポートレート	自分自身のクローズアップ撮影に適しています。 ピントを適切に合わせ、赤目を軽減します。
夜景ポートレート	夜景や光の弱い場所での人物撮影で起こりやすい赤目を軽減します。
夜景	遠距離の夜景撮影に適しています。フラッシュは発光しません。 ブレやすくなりますので三脚を使用してください。
ぶれ軽減	カメラのぶれや被写体の動きが原因で生じるぶれを軽減します。

プログラムモードについて

プログラムモードは、シーンモードの中に用意されています。
プログラムモードでは、スマートキャプチャーよりも細かい設定が可能です（※上級者向け）。

1. モードボタン MODE を押します。
2. 十字ボタンの 左・右 で ［**シーンモード**］ を選択し、OKを押します。
3. シーンモードの中から、［**プログラム**］ を選択し、OKを押します。

セルフタイマー	露出補正	ISO	ホワイトバランス	オートフォーカス	その他のツール
	+2.0	ISO 400	AUTO WB	[•]	

セルフタイマー／連写	セルフタイマー　または　連写を設定します。（→14ページを参照）
露出補正 露出を調整します。	**0.0、 ±0.3、 ±1.0、 ±1.3、 ±1.7、 ±2.0** プラス側では明るくなり、マイナス側では暗くなります。 **0.0** が基準値となり、**±2.0** まで補正が可能です。
ISO感度 センサーの感度を 調整します。	**オート、 ISO64、 ISO100、 ISO200、 ISO400、 ISO800、 ISO1600** 暗いところではISO感度を上げると速いシャッタースピードで撮影できますが、必要以上に感度を高く設定するとノイズが出やすくなります。
ホワイトバランス 光源の状態を 設定します。	**オート**：　自動でホワイトバランスが補正されます。 **昼光**：　自然光での撮影に適します。 **白熱灯**：　白熱電灯の下でフラッシュを使用しない場合、黄色っぽく写るのを補正します。 **蛍光灯**：　蛍光灯の下でフラッシュを使用しない場合、緑っぽく写るのを補正します。 **晴天日陰**：　自然光を利用した日陰での撮影に適します。
オートフォーカス／自動露出 ピントを測る領域 を選択します。	**センター**：　ピントを測る範囲を画面中央に固定します。 **フェイス優先**：　人の顔を検出した場合、顔に優先的にピントを合わせます。 **マルチ AF**：　カメラの近い被写体に優先的にピントを合わせます。
カラーモード 画像の色調を設定 します。	**ビビッド**：　強調された鮮やかな色調 **フルカラー**：　見た目どおりの自然な色調 **ベーシック**：　色をおさえ、落ち着いた色調 **白黒**：　白黒の色調 **セピア**：　赤みがかった茶色のアンティークな色調
シャープネス	**シャープ、標準、ソフト**
設定	**設定メニューに移動します（→31 ページを参照）。**

パノラマ画像の撮影

パノラマ機能は、シーンモードの中に用意されています。
パノラマ機能は、連続して撮影された2枚もしくは3枚の画像をステッチ（つなぎあわせ）して、ワイドな画像を完成させます。

1. モードボタン MODE を押します。
   十字ボタンの 左･右で ［**シーンモード**］ を選択し、OKボタンを押します。

2. 十字ボタンで ［**パノラマ**］ を選択し、OK ボタンを押します。
3. 画面左上の パノラマアイコンが選択されている状態でOKボタンを押すと、
   撮影する方向 （［**左→右**］ または ［**右→左**］） を切り替えることができます。
   どちらかのアイコンを選択し、OKボタンを押します。

4. 1枚目の画像を撮影します。
   液晶画面には、クイックビューが表示された後、ライブビューと1枚目の画像の「オーバーレイ」が表示されます。
5. 2枚目の構図を決めます。1枚目の画像のオーバーレイが、2枚目の画像の同じ位置に重なるようにします （1枚目の撮影をやり直す場合は、削除（ゴミ箱）ボタンを押します）。
6. 撮影を2枚でやめる場合は、OKボタンを押すと、画像のステッチ処理が開始します。
   3 枚撮影すると、画像は自動的にステッチされます。クイックビューは約 5 秒間液晶画面に表示されます。

2枚または3枚を
続けて撮影します。

カメラ内で自動的に
ステッチされ、一枚の
パノラマ画像になります。

撮影時のアイコン表示について

（※機能説明のため、すべてのアイコンを表示しています）

撮影情報の表示／非表示

表示ボタン **DISP.** を押すごとに、ツール（アイコン）の表示と非表示が切り替わります。

■撮影情報を表示しない

■撮影情報を表示する

※画面表示は撮影モードによって異なります。

4　画像の再生・編集

静止画の再生

撮影した画像をカメラ本体で表示します。
レビューボタンから、レビュー（再生）モードのホーム画面に入ります。

1. レビューボタン ▶ を押します。
   レビューモードのホーム画面が表示されます。

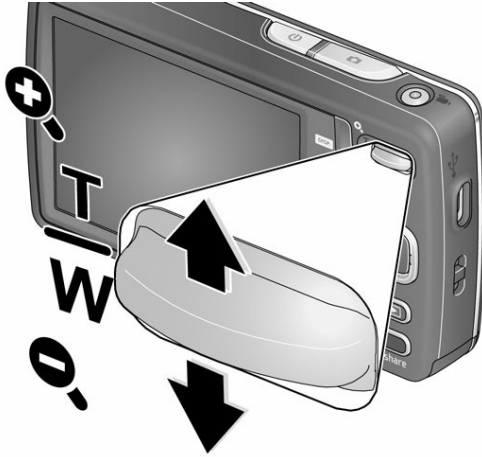
2. 十字ボタンの　左・右　を押して、表示したい項目を選び、OKボタンを押します。

   ［すべて］ 撮影したすべての画像を表示します。
   ［日付］　画像を撮影日順にまとめて表示します。
   ［動画］　動画を表示します。

3. 画像の全画面表示になります。
   十字ボタンの　左・右　で前／次の画像に移動します。
   （3:2　または　16:9 で撮影された静止画、または動画には黒いフチが出ます）

- レビューボタンを押すと、撮影モードに戻ります。
- 広角（W）ボタンを押すと、ホーム画面に戻ります。

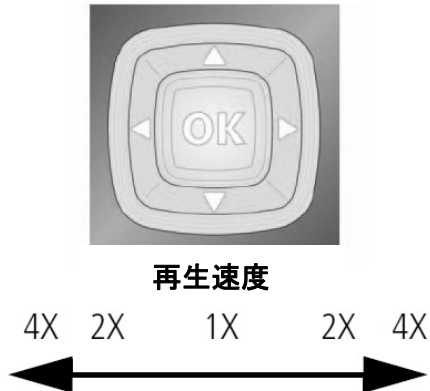
画像の拡大表示(静止画)

ズームボタンで、2倍～8倍まで画像を拡大・縮小して表示できます。

1. レビューボタン ▶ を押します。
   「静止画・動画の再生」（→21 ページ） の手順で、目的の画像(静止画)を表示します。

2. ズームを望遠側(T)に倒すと拡大、広角側(W)に倒すと縮小します。

3. 十字ボタンで、画像の表示したい部分を動かします。OK ボタンを押すと、画面全体の表示に戻ります。

   ※動画の拡大表示はできません。

動画の再生

1. レビューボタン ▶ を押します。
   「静止画・動画の再生」（→21 ページ） の手順で、目的の画像を表示します。

2. 十字ボタンの 左・右 で再生する動画を選びます。
3. OK ボタンを押すと、動画が再生されます。
   もう一度 OK ボタンを押すと、一時停止します。
4. 再生中は、十字ボタンの 上・下 で音量を調整します。

- 再生中に 右 を押すと、2倍速で再生されます。
  → もう一度押すと4倍速になります。
- 再生中に 左 を押すと、2倍速で逆方向に再生されます。
  → もう一度押すと4倍速になります。

画像の削除

保存されている画像を削除します。

1. レビューボタン ▶ を押します。レビューモードのホーム画面が表示されます。
   「静止画・動画の再生」（→21 ページ） の手順で、画像を表示します。

2. 十字ボタンの 左・右 で、削除したい画像を選びます。

3. 削除ボタン 🗑（ゴミ箱の絵柄） を押します。

4. 十字ボタンの上・下（▲/▼）で、以下のいずれかを選択し、OK ボタンを押します。

   ［終了］　削除を行わず、レビュー画面に戻ります。
   ［この画像］　いま表示されている画像 1 枚だけが削除されます。
   （※動画の場合は **［動画］** と表示されます。）
   ［すべて］　現在保存されているカード（または内蔵メモリー）にある
   すべての画像が削除されます。

削除の取り消し機能

画像を誤って削除した場合、直前の1コマに限り、削除を取り消して復元することができます。
十字ボタンの 上・下 で **［削除の取り消し］** を選択し、OK を押します。

画像の編集

1. レビューボタン ▶ を押します。 レビューモードのホーム画面が表示されます。
   「静止画・動画の再生」（→21 ページ） の手順で、画像を表示します。

2. 十字ボタンの 左・右 で、編集したい画像を選びます。

3. 表示ボタン DISP. を押して、液晶画面上部のツール（アイコン）を表示させせます。

4. 十字ボタンで目的のアイコンを選択し、OKボタンを押します。

■アイコン表示

	ホーム	ホーム画面
	インデックス	インデックス表示（サムネイル：一覧表示）に切り替えます。 複数画像の選択にも使用します。
	タグ	画像にタグ情報（名前・場所など、特定のキーワード）をつけることができます。
	編集	画像のトリミング、日付写し込みなどを行います。
	プリント	PICTBRIDGE（ピクトブリッジ）対応のプリンターでプリントする際、プリント枚数をカメラ本体で指定できます。
	スライドショー	保存されている画像をスライドショー再生します。

複数画像の選択

複数の画像をまとめてプリントしたり削除する場合は、複数選択機能を使います。
複数選択は、インデックス（サムネイル）表示で使用できます。

1．レビューボタン ▶ を押します。 レビューモードのホーム画面が表示されます。
「静止画・動画の再生」（→21 ページ） の手順で、目的の画像（静止画）を表示します。

2．表示ボタン DISP. を押して、液晶画面上部のツール（アイコン）を表示させます。

十字ボタンで **「インデックス」**（サムネ—ル） **アイコン** を選択し、OK を押します。

3．十字ボタンで ［**画像の選択**］ を選び、OK ボタンを押します。
十字ボタンで選択したいコマに移動して OK ボタンを押すと、
その画像にチェックマーク ✓ が表示され、選択対象になります。

選択した画像はまとめてプリントしたり、削除する
ことができます。選択を解除するには、もう一度
OK ボタンを押すとチェックマークが消えます。

画像のタグ付け

画像に「タグ」をつけると、後で必要な画像を探しやすくなります。
タグをつけた画像は、レビューモードのホーム画面でタグ別に整理されて表示されます。

※動画にはタグ付けできません。
※タグに使用できるのは半角英数のみです。 日本語は使用できません。

■キーワード（場所・イベントなど）のタグを付ける

1. レビューボタン ▶ を押します。
   「静止画・動画の再生」（→21ページ） の手順で、目的の画像（静止画）を表示します。

2. 十字ボタンの左・右で、場所・イベントなどのタグを付けたい画像を表示します。

3. 表示ボタン DISP. を押して、液晶画面上部のツール（アイコン）を表示させます。

4. 十字ボタンで **「タグ」 アイコン** を選択し、OKボタンを押します。
5. 十字ボタンの 左・右で ［**キーワードタグ**］ を選択し、OKボタンを押します。
6. 十字ボタンの 上・下で 既存のキーワードを選択します。

   新しくキーワードを設定する場合は ［＋］（新しいタグ） **アイコン** を選択し、
   OKボタンを押します。
   入力用キーボードを使って、新しいキーワードを入力します。
   十字ボタンで 右上の ［**完了**］ を選択し、OKボタンを押します。

5. キーワードタグが適用されると、そのキーワードの左側にチェックマーク ✔ がつきます。
6. 操作が完了したら、十字ボタンで 右上の ［**完了**］ を選択し、OKボタンを押します。

画像のトリミング

画像の不要な部分をトリミングして、必要な部分だけを切り取ることができます。

1. レビューボタン ▶ を押します。
   「静止画・動画の再生」（→21 ページ） の手順で、目的の画像（静止画）を表示します。

2. 表示ボタン DISP. を押して、液晶画面上部のツール（アイコン）を表示させます。

   十字ボタンで **「編集」アイコン** を選択し、OK を押します。

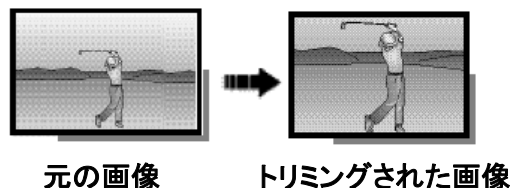
3. 十字ボタンの 左・右 を押して ［ **トリミング** ］ を選択し、OK ボタンを押します。
   画面上の説明を読み OK ボタンを押します。

4. 十字ボタン（上下・左右） でトリミング枠を動かします。 **W／T ボタン**でトリミング枠を拡大／縮小します。トリミング範囲を設定したら、OK ボタンを押します。

5. **「トリミングされた画像を保存しますか？」** と表示されます。
   以下のいずれかを十字ボタンの 左・右 で選択し、OK ボタンを押します。

   ［名前を付けて保存］　トリミングした画像を元の画像とは別に保存します。
   ［キャンセル］　トリミングを適用せず、元に戻ります。
   ［元の画像を置き換え］　元の画像とトリミング後の画像を置き換えて保存します。

6. **「戻る」**ボタン を押すと、レビュー画面に戻ります。

元の画像　　**トリミングされた画像**

日付写し込みの追加

撮影した画像に撮影日付の写し込みを行います。
※動画に日付を写し込むことはできません。

1. レビューボタン [▶] を押します。
「静止画・動画の再生」（→21 ページ） の手順で、目的の画像（静止画）を表示します。
2. 表示ボタン [DISP.] を押して、液晶画面上部のツール（アイコン）を表示させます。
十字ボタンで **「編集」アイコン** を選択し、OK を押します。
3. 十字ボタンの 左・右 を押して ［ **日付写し込み** ］ を選択し、OK ボタンを押します。
画面上の説明を読み OKボタンを押します。
4. 「日付写し込みは、一度追加すると画像から削除できません。この画像に日付写し込みを追加しますか？」 と表示され、［**はい**］ ［**いいえ**］ の選択画面が表示されます。
そのまま OK ボタンを押すと、画像に日付が写し込まれた状態で上書き保存されます。
5. シャッターボタンを軽く半押しすると、撮影画面に戻ります。

※現在の時刻ではなく、撮影日の情報が書き込まれます。
※画像に写し込んだ日付は、一度追加すると削除・変更できません。

※日付の写し込みの書式 （年・月・日の表示順） は、［ 日付／時刻 ］の設定が反映されます。時刻を写し込むことはできません。
（→ ［ 日付／時刻 ］の設定については、7 ページをご確認ください）

※日付は、撮影した時のカメラの向き（縦位置・横位置）に関係なく、カメラを横位置で構えたときの右下 に写し込まれます。

動画の編集

■動画のトリミング

動画の先頭と最後の不要部分をカットし、必要な部分を保存できます。

1. レビューボタン ▶ を押します。
   「静止画・動画の再生」（→21ページ） の手順で、目的の画像（動画）を表示します。

   ※ レビューモードのホーム画面の ［**動画**］ から ひとつ動画を選択してOKボタンを押すと、その動画が再生されます。編集を行うには、OKボタンを押して動画の再生を一時停止してから、次の手順に進んでください。

2. **表示ボタン** DISP. を押して、液晶画面上部のツール（アイコン）を表示させせます。

   十字ボタンで **編集アイコン** を選択し、OKを押します。

3. ［**トリミング**］ が選択されている状態で、OKボタンを押します。
   画面上の説明を読み OKボタンを押します。

4. 左のトリミングマーカー（保存したい動画の先頭）の位置を、十字ボタンで指定します。

   右のトリミングマーカー（保存したい動画の最後）の位置を、十字ボタンで指定します。

   それぞれの位置を設定したら、十字ボタンで右上の ［**完了**］ を選択し、OKボタンを押します。

5. **「トリミングされた画像を保存しますか？」** と表示されます。
   以下のいずれかを十字ボタンの 左・右 で選択し、OK ボタンを押します。

   ［名前を付けて保存］　トリミングした画像を元の画像とは別に保存します。
   ［キャンセル］　トリミングを適用せず、元に戻ります。
   ［元の画像を置き換え］　元の画像とトリミング後の画像を置き換えて保存します。

6. シャッターボタンを軽く半押しすると、撮影画面に戻ります。

レビューモードのアイコン表示

（※機能説明のため、すべてのアイコンを表示しています）

5　カメラの設定について

カメラのカスタマイズ

設定メニューで、カメラの設定を変更することができます。

カメラの設定には、次に変更されるまで保持されるものと、撮影モードの変更やカメラの電源のオン・オフをきっかけ元に戻るものがあります。
また、スマートキャプチャーモード、シーンモードでは、設定できる項目が制限されます。

1. 撮影状態から、十字ボタンで **「設定」アイコン** を選択し、OK を押します。

   アイコン表示がされていないときは、表示ボタン DISP. を押して、液晶画面上部のツール（アイコン）を表示させます。

2. 十字ボタンの 上・下 で設定する項目を選び、OK ボタンを押します。

3. 設定値を変更し、OK ボタンを押します。

設定メニューで設定できる項目

（Share ボタンの設定）	（※日本国内ではKodak Gallery のサービスが行われていないため、Share ボタンの機能はご利用いただけません。）
画像サイズ 静止画の解像度を設定します。	14MP （4:3）: 最高の解像度です。大きいプリントに適します。 12MP （3:2）: 高解像度です。大きいプリントに適します。 10MP （16:9）: 高解像度のハイビジョン比率画面（16：9） 6MP （4:3）: 標準的なサイズ 3MP （4:3）: メール、ウェブページ等に適します。
動画サイズ 動画の解像度を設定します。	HD 720p ： ハイビジョン TV などでの高画質再生に適しています。 VGA ： コンピュータでの再生、ネットワークへのアップロードに適しています。
言語	**カメラの表示言語を選択します。**
人物のタグの設定 顔認識機能で認識した個人の名前を付けることができます。	**人物のタグの更新**： 別の人物として認識された場合、その画像のタグを書き換えます。 **名前リストの修正**： すでにある名前リストの修正を行います。 **※タグに使用できるのは「半角英数」のみです。**
スライドショーの設定 スライドショーの間隔・表示方法などを設定します。	**表示方法**： 画面表示（画面の切替わり方）を設定します。 **繰り返し**： 繰り返しを有効 または 無効にします。 **間隔**： スライドショーの表示間隔を設定します。
AF コントロール オートフォーカスの動作モードを設定します。	**コンティニュアス AF**： 常時オートフォーカスが動作しています。 ピントを合わせるとき、シャッターを半押しする必要はありません。 （※レンズの駆動音が気になる場合は、**シングル AF** を選択してください） **シングル AF**： シャッターを半押しすると、オートフォーカスが動作します。
LCD 輝度 液晶画面の明るさを調整します。	**オート**： 環境に応じて、自動的に液晶画面の明るさを調整します。 **ハイパワー**： 液晶画面が明るくなります。電池寿命は短くなります。 **パワーセーブ**： 液晶画面が暗くなります。電池寿命は長くなります。
音量 カメラ操作音の音量を設定します。	**高・中・低・ミュート（消音）**
日付／時刻	**日付と時刻を設定します。** （→ 7 ページ **「日付／時刻の設定をやりなおす」** を参照してください）

ビデオ出力 TV などに出力した時のビデオ出力方式を選択します。	NTSC： 日本と北アメリカで使用される方式です。 （※日本では必ず 「NTSC」 を選択してください） PAL： ヨーロッパや中国で使用される方式です。
カメラの設定をすべてリセット	カメラの設定をすべてリセットします（画像は消えません）。
コンピュータ接続時 コンピュータに接続した時のソフトウェアを選択します。	**KODAK ソフトウェア**： KODAK ソフトウェアを使用します。 **その他のソフトウェア**： ソフトウェアを起動しません。 **注意： 本製品は USB マスストレージに対応していません。** **ディスクドライブとしては認識されませんのでご注意ください。**
セーフモード SD カードの内容や、カメラ設定の変更を制限します。	**オフ**： すべての操作が可能です。 **オン**： 撮影・画像の表示はできますが、画像の削除・編集・カメラ設定の変更などが制限されます。
フォーマット（初期化） 内蔵メモリー または SD カードのフォーマット（初期化）を行います。	**メモリーカード**： カードの内容をすべて削除し、カードをフォーマットします。 **内蔵メモリー**： 内蔵メモリーの内容をすべて削除し、内蔵メモリーをフォーマットします。 ※フォーマットを行うと、すべての画像が削除されます。 ※ファーマット中にカードを取り出さないでください。
カメラ情報	カメラのファームウェア情報を表示します。

【ご注意】

これらのメニュー項目は、ファームウェアの更新等により予告なく変更される場合があります。

6　画像をコンピュータにコピーする

撮影した画像をコンピュータにコピーするには、以下の方法があります。
ほとんどの場合、
①市販の『USBカードリーダー』を使ってSDカードを読み取る方法　をお勧めします。

① 市販の 『USBカードリーダー』 を使ってSDカードを読み取る（※推奨）

USBカードリーダー（市販品）の例

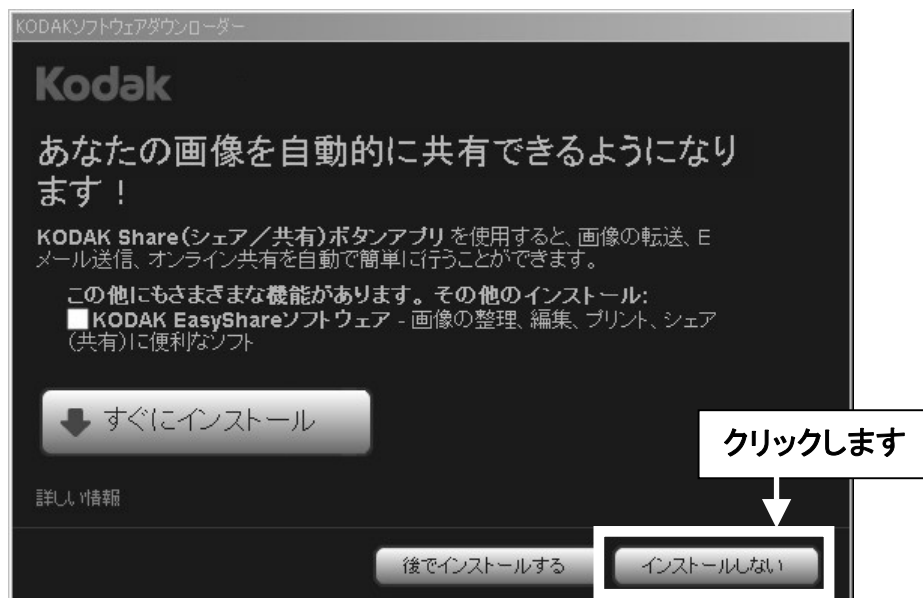
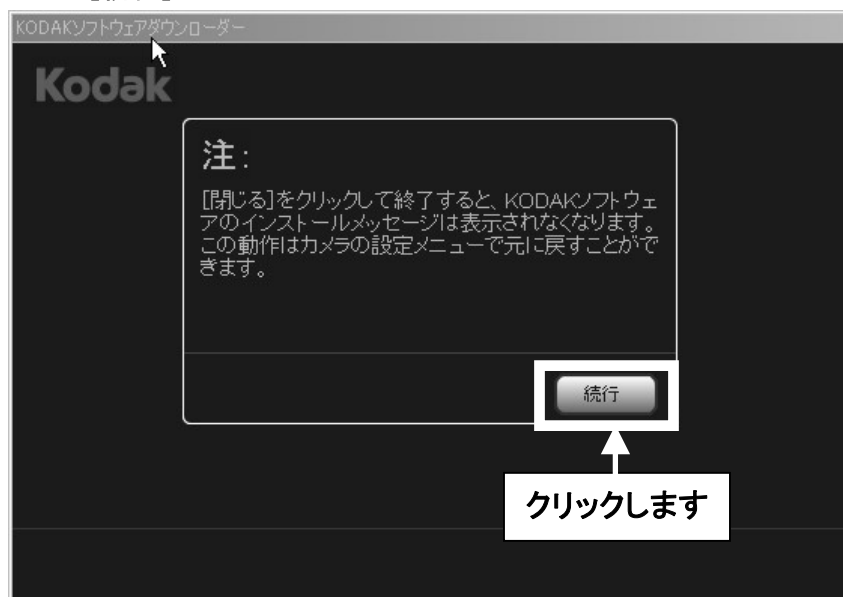
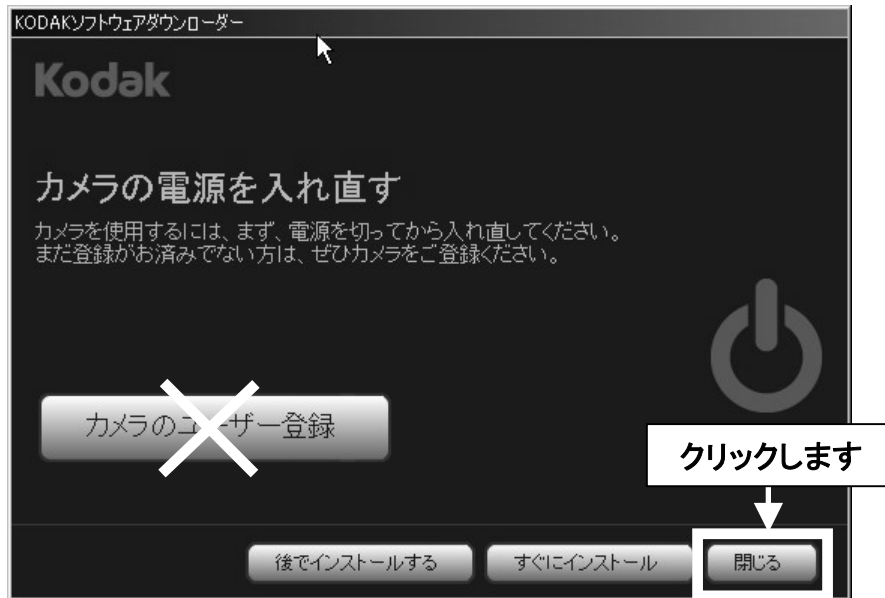
1.　USBカードリーダーをコンピュータに接続します。
2.　カメラ本体からSDカードを取り出し、USBカードリーダーにセットします。
3.　コンピュータ上に認識されたUSBカードリーダーのアイコンをクリックし、SDカードを開きます。

Windowsでは、マイコンピュータ（WindowsVista/7では “コンピュータ” ）の中の「リムーバブルディスク」 として認識されます。

撮影された画像は 「DCIM」 フォルダの中に記録されます。
ここから必要な画像を、コンピュータの任意の場所にコピーします。

② カメラとコンピュータを、付属のUSBケーブルで接続する （※上級者向け）

【ご注意】
カメラにコンピュータを直接して、KODAKのソフトウェアをダウンロードすることもできますが、日本国内ではこのソフトウェアから利用できる機能が限られています。
そのため、KODAKソフトウェアはダウンロードせず、コンピュータに標準で入っている転送プログラム（→ 36ページを参照）を利用して、コンピュータに画像をコピーすることをお勧めします。

1．カメラの電源をオフにし、付属のUSBケーブルでコンピュータに接続します。
2．カメラの電源をオンにします。
3．「**KODAKソフトウェアダウンローダー**」の画面があらわれたら、［**インストールしない**］をクリックします。

4．次の画面で［続行］をクリックします。

5. 次の画面で ［**閉じる**］ をクリックして、画面を閉じます。
「カメラのユーザー登録」はアメリカ国内のサービスです。日本国内ではユーザー登録を行っておりませんので、このボタンはクリックしないでください。

6. **カメラの電源を入れなおします。**
この状態から、コンピュータに標準で入っている機能を利用して画像を転送できます。

■コンピュータの OS に標準で入っている転送プログラム

Windows XP	スキャナとカメラのウィザード
Windows Vista	Windows フォトギャラリー
Windows 7	画像の取り込み　または Windows　Live フォトギャラリー(ダウンロード)
Mac OS X	iPhoto

コンピュータがカメラを認識すると、プログラムが起動します。
画面の指示にしたがって、画像の転送を行います。

※本製品は、USB マスストレージに対応しません。
カメラ本体をディスクドライブとして認識させることはできません。

※Windows、Mac OS に含まれるソフトウェアの操作等につきましては、
各パソコンメーカー様にお問い合わせください。

7　トラブルシューティング（こんなときは？）

「故障かな？」と思ったときは、以下の項目をご確認ください。

カメラの動作について

現象	解決方法（以下のいずれかの方法をお試しください）
電源が入らない	・バッテリーを取り外し、しばらく経ってから正しく装着しなおしてください。 ・バッテリーの向きを確認してください （→4 ページを参照）。 ・もう一度、充電を行ってください （→5 ページを参照）。 ・新しいバッテリーに交換してください。
電源をオフにできない 操作ができない	・バッテリーを取り外し、しばらく経ってから正しく装着しなおしてください。
残り枚数表示が 減らない	・故障ではありません。 ・大容量のメモリーカードで撮影可能枚数にじゅうぶんな余裕のあるときは、 しばらく枚数表示が減らないことがあります。
フラッシュが発光しない	・フラッシュ設定がオフになっていないか確認してください （→13 ページを参照）。 ・発光しない撮影モード、シーンモードもあります。
寿命（撮影枚数） が短い	・液晶モニターを長時間使用したり、フラッシュ撮影をひんぱんに行うと、 電池が激しく消耗することがあります。 ・充電式電池は性質上、数年で性能が劣化します。正しく充電しても 性能が回復しない時は、新しい電池をお求めください。
画像が明るすぎる	・プラス側の露出補正が入っている → 露出補正値を元に戻してください。 ・フラッシュに近すぎる → 被写体から少し離れてください。
画像が暗すぎる	・夕方～夜もしくは室内では、フラッシュを使用してください。 ・逆光ではフラッシュが発光しないことがあります。強制発光モードで撮影してください。 ・フラッシュと被写体の距離が遠い → 被写体に近づいてください。 ・マイナス側の露出補正が入っている → 露出補正値を元に戻してください。
画像が鮮明でない	・レンズが汚れている → レンズ表面を柔らかい布でやさしく拭いてください。 ・被写体との距離が近すぎてピントが合っていない → 被写体から離れてください。 ・被写体から離れている時は、マクロモードになっていないか確認してください。
カードの抜き差しで フリーズした	・電池を取り外し、しばらく経ってから正しく電池を入れなおし、カメラが起動した ことを確認してからカードを装着しなおしてください。 ・カードの抜き差しは、必ずカメラの電源をオフにしてから行ってください。
使用中にカチャカチャと 音がする	・スマートキャプチャーモードではカメラが常時ピントを合わせ続けるため、何も操作を 行っていない状態でも「カチャカチャ」というレンズ駆動音が聞こえることがあります。 異常ではありません。

エラーメッセージ

エラーメッセージ	解決方法（以下のいずれかの方法をお試しください）
表示可能な画像または動画がありません。	・画像保管場所の設定（カード／内蔵メモリー）を確認してください。
メモリーカードをフォーマットする必要があります。	・カードを取り出し、カードの金属接点に汚れなどがないか確認してください。汚れを柔らかい布等でふき取ってから、もう一度しっかりカメラに差し込んでください。 ・それでも改善しない場合は、カードをフォーマットしてください。 ※フォーマット（初期化）を行うと、すべての画像や設定が削除されます。
内蔵メモリーをフォーマットする必要があります。	・内蔵メモリーをフォーマットしてください。 ※フォーマット（初期化）を行うと、すべての画像や設定が削除されます。
内蔵メモリーが読めません。	
メモリーカードが入っていません。	・SD/SDHC カードを正しく装着してください。
空き容量が足りません（コピーできませんでした）。	・画像をコンピュータに転送して保存するか、カメラで不要な画像を削除してください。 ・新しいカードに交換してください。
メモリーカードがプロテクトされています。	・カードのプロテクト（書込み保護）スイッチが「LOCK」になっていないか確認してください。
このメモリーカードは使用できません。	・カードがカメラに対応していないか、壊れている可能性があります。別のカードに交換してみてください。
日付・時刻がリセットされています。	・日付／時刻を再設定してください （→ 7 ページを参照）。
異常高温を検出しました（自動的にオフになります）。	・カメラの電源をオフにして 10 分以上放置し、その後電源をオンにします。
読み込めない画像ファイルです。	・そのファイルが変更されたか、壊れている可能性があります。
カメラエラー　No.XXXX	・電池とカードを取り出し、1 時間程度置いてから再度電池を入れます。 ・カメラが正常に起動したら、いったん電源をオフにしてカードを装着した後もう一度電源をオンにしてください。 ・エラーが消えない場合は、コダックお客様相談センターにお問い合わせください。

■製品に関するお問い合わせ（使い方等）：
加賀ハイテック株式会社　コダックお客様相談センター
TEL: 03-5540-9002　　営業時間　9:30～17:30 （土日祝・年末年始を除く）

8　付　録

カメラの仕様

イメージセンサー	1/2.3 インチ　CCD
有効画素数	1400 万画素 （4320 x 3240 ピクセル）
記録画素数	14 MP （4:3）: 4288 x 3216 ピクセル 12 MP （3:2）: 4288 x 2848 ピクセル 10 MP（16:9）: 4288 x 2416 ピクセル 6 MP （4:3）: 2880 x 2160 ピクセル 3 MP （4:3）: 2048 x 1536 ピクセル
記録メディア	SD カード／SDHC カード（別売: 32GB まで動作確認済み） （SD ロゴは、SD Card Association の商標です。）
内蔵メモリー	32 MB （※画像保存用として約 18 MB を使用可能）
撮影レンズ	光学 4 倍ズームレンズ （35 mm 換算: 28～110 mm）
レンズカバー	内蔵
デジタルズーム	5 倍
液晶画面	2.7 インチ、23 万画素
オートフォーカス	TTL-AF マルチ AF、センターAF、フェイス優先
フォーカスモード	コンティニュアス AF／シングル AF
フォーカス範囲	スマートキャプチャーモード: 0.5 m ～ 無限遠（広角側） 1.0 m ～ 無限遠（望遠側） マクロ: 0.2 m ～ 0.8 m （広角側） 0.4 m ～ 1.0 m （望遠側）
フェイス検出	あり
フェイス認識	あり
シャッター速度	1/8～1/1600 秒 （マニュアル設定不可）
長時間露出	0.5～8 秒 （長時間露出モードのみ設定可）
ISO 感度	オート、64、100、200、400、800、1600（プログラムモードで設定可）
測光方式	TTL-AE フェイス優先、マルチ AF、センターAF
露出補正	±2.0 EV（1/3 EV ステップ）
ホワイトバランス	スマートキャプチャー: オート プログラム: 選択式（オート、昼光、白熱灯、蛍光灯、晴天日陰）

フラッシュ	到達距離： 0.5～4.0 m（広角）、1.0～2.1 m（望遠） （※ISO 100 スマートキャプチャーモード時）
フラッシュ発光モード	オート、強制発光、赤目軽減プレ発光、オフ
セルフタイマーモード	10 秒、2 秒、2 連写 （10 秒と さらに 8 秒後）
連写モード	最大 3 枚 （1.5 コマ／秒）
撮影モード	スマートキャプチャー、フィルム効果、シーンモード、Photo Booth、動画
画像記録フォーマット	静止画： JPEG（EXIF2.21） 動画： 拡張子 MP4 （コーデック： H.264、 オーディオ： AAC）
カラーモード	ビビッド、フルカラー、ベーシック、白黒、セピア、フィルム効果
シャープネス	シャープ、標準、ソフト
動画撮影	HD（16:9） 1280 x 720 @30fps （1 ファイル最大 4GB または約 29 分） VGA（4:3） 640 x 480 @30fps （1 ファイル最大 4GB）
コンピュータとの通信	USB 2.0、KODAK カメラ USB ケーブル（Micro B / 5 ピン）使用
ビデオ出力形式	アナログ AV 出力 （NTSC／PAL 選択式）
マイク	あり
スピーカー	あり
PICTBRIDGE	対応
バッテリー	KODAK リチウムイオン充電式デジタルカメラバッテリー 「KLIC-7006」
AC アダプター	KODAK K20-AM （入力：AC100-240V / 出力：5V 1.0A）
三脚ねじ穴	1/4 インチ
サイズ	93 x 55 x 19 mm（電源オフ時・最厚部）
重量	本体： 101g （バッテリー、カードを含まず） バッテリー： 14g
動作温度	0～40℃

【ご注意】
これらの仕様は、ファームウェアの更新等により予告なく変更される場合があります。

注意：

**本製品は分解しないでください。製品内部にお客様自身が修理可能な部品はありません。
修理については、コダックお客様相談センターにお問い合わせください。**

**付属のACアダプターは、必ず屋内で使用してください。本ユーザーガイドで指定されている
以外の制御、調整、または手順を行った場合、感電や電気的または機械的な危害を招く恐れが
あります。液晶画面が破損した場合は、ガラスや液体に触れないでください。**

■ Kodak が推奨するアクセサリー以外のアクセサリーを使用すると、火事、感電、または負傷の危険があります。
■ 電流制限機能付きマザーボードを搭載したUSB 対応コンピュータを使用してください。
詳しくは、コンピュータの製造会社に問い合わせてください。
■ 本製品を航空機内で使用する場合は、航空会社の指示に従ってください。
■ バッテリーを取り出した直後は熱くなっている場合があります。
常温の環境で、バッテリーをじゅうぶんに冷ましてください。
■ バッテリーの製造元が提供する警告および指示に必ず従ってください。
■ 爆発の危険性を避けるために、本製品専用のバッテリーを必ず使用してください。
■ バッテリーは子供の手の届かないところに保管してください。
■ 硬貨などの金属にバッテリーが触れないようにしてください。金属に触れると、ショート、放電または液漏れが発生したり、熱くなったりすることがあります。
■ バッテリーを分解したり、向きを逆にして装着しないでください。
また、液体、湿気、火気、極度の高温／低温にさらさないでください。
■ 本製品を長期間使用しない場合は、バッテリーを取り外してください。
万一、本製品内でバッテリーが液漏れした場合は、修理が必要となります。

■ 万一、バッテリーの液漏れが皮膚に触れた場合は、すぐに水で洗い流し、最寄りの医療機関にご相談ください。

■ 付属バッテリーの製品安全データシート（MSDS）は、以下URLをご確認ください。
http://www.kodak.com/eknec/PageQuerier.jhtml?pq-path=4648&pq-locale=ja_JP&_requestid=33307

お手入れとメンテナンス

■ カメラ内部に水が入った場合は、ただちにバッテリーとカードを取り出してください。
■ 0℃以下または40℃以上の環境にカメラを長時間放置しないでください。
■ レンズまたは液晶画面のホコリをハンドブロワーなどで飛ばします。表面の汚れは、起毛のない柔らかい布か、化学処理されていないレンズ用ペーパーでそっと拭きます。
クリーニング液を使用する場合は、カメラレンズ用のクリーニング液を使用してください。
日焼けローションなどの薬品が塗布面につかないように注意してください。
■ カメラの廃棄やリサイクル情報については、最寄りの自治体にお問い合わせください。

電池寿命について

コダック　充電式リチウムイオンバッテリー 「KLIC-7006」
1回の充電につき　約200枚　の画像を撮影可能（スマートキャプチャモード）

※　CIPA規格に準じた測定条件による目安です。
※　実際の電池の寿命は、使い方によって異なります。

■電池を長持ちさせる

・液晶画面の明るさを調整してください（→32ページ 「設定メニューで設定できる項目」を参照）。

・電池の接触部分に汚れがあると、電池の寿命に影響する場合があります。
電池をカメラに装着する前に、きれいな乾いた布で接触部分を拭いてください。

・気温が5度以下になると、電池の効率が悪くなります。
低温の場所でカメラを使う場合は、予備の電池を持参し、冷えないように保管してください。
冷たくなって使用できなくなった電池は、室温に戻せば再び使用できる場合があります。

保証修理について

コダックコンシューマーデジタル製品の保証修理は、製品を最初に購入した国のみで有効です。

保証期間中、取扱いについての説明書および本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合は無償修理をさせていただきます。本製品と同梱の製品保証書をお買い上げの販売店に持参いただくか、弊社お客様相談センターにご相談のうえ修理をご依頼ください。なお、記録されたデータの補償はいたしかねますのでご容赦ください。

この製品に対する保証は上記の修理に限られます。この製品が原因で生じた種々の費用、ご不便ないし不都合、精神的な損害、その他すべての付随的または間接的損害については補償いたしかねます。

次のような場合は、保証期間内でも有料修理とさせていただきます。

1. 製品保証書のご提示がない場合
2. 製品保証書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ販売店名の記載がない場合および製品保証書に記載の字句(型番など)を書き換えられた場合
3. ご使用上の誤り、不当な修理や改造による故障および損傷
4. お買い上げ後の輸送、移動、落下、圧力などによる故障および損傷
5. 火災、地震、風水害、雷、その他天災事変、虫害、塩害、公害、ガス害(硫化ガスなど)や異常電圧、指定外の使用電源(電圧・周波数)による故障および損傷
6. 不具合の原因が本製品以外(外部要因)による場合
7. 電池を長期間カメラの中に放置し、電池内の液が漏れて生じた故障

保証期間経過後の修理等についてご不明の点は、お買い上げの販売店、またはコダックお客様相談センター(TEL:03-5540-9002)にお問い合わせください。

保証の対象となる部分は本体(デジタルカメラ・ポケットビデオカメラ製品)のみで、ストラップ等の付属品および本製品に付帯している消耗品(電池類など)は保証の対象とはなりません。

保証規定については、同梱の製品保証書をご確認ください。
製品保証書は再発行いたしません。紛失しないよう大切に保管してください。

規格との適合

FCC 準拠および勧告

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. The KODAK High Performance USB AC Adapter K20-AM complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

CE

Eastman Kodak Company は、本 KODAK 製品が Directive 1999/5/EC 指令の基本要件とその他の関連規定に準拠していることを宣言します。

MPEG-4

消費者が個人的かつ非営利目的で使用する場合を除き、MPEG-4 ビジュアル規格に準拠した、いかなる方法でも本製品を使用することは禁止されています。

カナダ通信局声明文

DOC Class B Compliance—This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

Observation des normes-Classe B—Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

オーストラリア C-Tick マーク

N137

VCCI Class B ITE

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

韓国 Class B ITE

B급 기기 (가정용 방송통신기기)	이 기기는 가정용(B급)으로 전자파적합등록을 한 기기로서 주로 가정에서 사용하는 것을 목적으로 하며, 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.

中国 RoHS

环保使用期限 (EPUP)

在中国大陆，该值表示产品中存在的任何危险物质不得释放，以免危及人身健康、财产或环境的时间期限（以年计）。该值根据
明中所规定的产品正常使用而定。

有毒有害物质或元素名称及含量标识表						
部件名称	有毒有害物质或元素					
	铅	汞	镉	六价铬	多溴联苯	多溴二苯醚
数码摄像机电路板组件	×	○	○	○	○	○
锂电池	×	○	○	○	○	○
交流变压器	×	○	○	○	○	○
○：表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在SJ/T 11363-2006规定的限量要求以下。 ×：表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出SJ/T 11363-2006规定的限量要求。						

HDMI 电缆 (HDMI Cable)

音频/视频电缆 (Audio/Video Cable)

Kodak

Eastman Kodak Company
Rochester, New York 14650

画面はハメコミ合成です。

Kodak、EasyShare は、Eastman Kodak Company の商標です。